

## 下水道事業会計補助金 前年比較で減額の理由と今後の長期キャッシュ・フローについて

・前年比較で減額の理由

企画経営部 財政課

上下水道局経営企画課

令和2年度までは平成30年3月に作成した「下水道事業会計 一般会計 繰入方針」に基づき、汚水に係る資本費（汚水に係る支払利息及び減価償却費）について、資本費の44%をかけた額を市が繰り出すこととしていましたが、令和3年度については、当年度純利益及び純損失が生じない金額を繰り出すものとし、その繰り出した金額については汚水に係る資本費に充当することとします。また、令和4年度以降の繰出し（補助金）についての考え方及び、繰出額は今後上下水道局と市が協議して決定することとしています。

・今後の長期キャッシュ・フローについて

（1）資金残高の推移

（千円）

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
年度末資金残高	124,060	128,671	120,957	125,569	128,238

（2）水道事業からの借入額及び返済額

	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
水道事業からの借入額	300,000	150,000	60,000	40,000	0
水道事業への返済額	0	0	0	0	280,000
（年度末借入金残高）	（970,000）	（1,120,000）	（1,180,000）	（1,220,000）	（940,000）

※R4年度以降の見込みについては、現在策定中の宝塚市下水道事業経営戦略中間見直し（案）によるもので、R4年度以降も、市から一定額の補助金を支出する場合の見込みです。